

製品名: クローディン 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08906**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN2
別名	CLDN2; PSEC0059; SP82; Claudin-2; SP82
遺伝子 ID	9075.0
SwissProt ID	P57739
免疫原	抗血清はヒトクローディン 2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

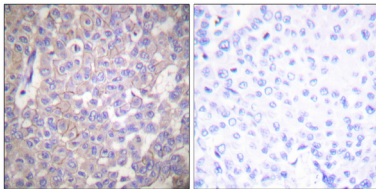
この遺伝子産物は、クローディンタンパク質ファミリーに属し、そのメンバーはタイトジャンクションにのみ局在する主要な膜貫通タンパク質として同定されています。クローディンは臓器特異的に発現し、タイトジャンクションの組織特異的な生理学的特性を制

御します。このタンパク質は腸管で発現します。この遺伝子には、5'非翻訳領域が異なる選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2010年1月],機能: カルシウム非依存性細胞接着活性を介して、タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たす。類似性: クローディングファミリーに属する。サブユニット: 他のCLDNとホモポリマーおよびヘテロポリマーを形成できる。ホモポリマーはCLDN3と相互作用するが、CLDN1のホモポリマーとは相互作用しない。TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用する。、

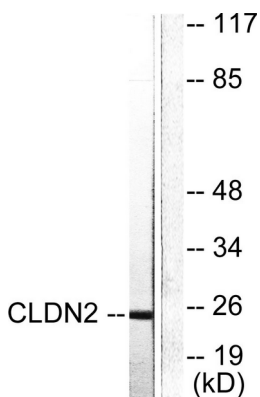
研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

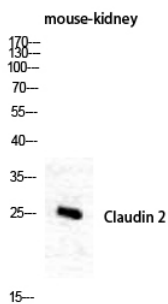
画像データ



Claudin 2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



NIH/3T3細胞ライセートのClaudin 2抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000希釈のClaudin-2ポリクローナル抗体を用いたマウス腎臓細胞のウェスタンブロット分析